

11月27日（木）記号

いま、2年生はかけ算の勉強を一生懸命
しています。九九を覚えるのもたいへん
ですが、日本人のほとんどの人は、2年生の
時に九九を覚えて、大人になっています。



さて、かけ算の記号「 \times 」は、どうやって作られたのでし
ょうか。これは、イギリスのオートレッドという人が、「かけ
算を美しくするためには『 \times 』または『in』を使う」と書いた
のが始まりだそうです。十字架の記号を斜めにしたものだと、
言われています。その後、ドイツのライプニッツという人は、
Xと間違いやすいので『 \cdot 』を使うようにしました。この「 \cdot 」
は、今でも使われています。

では、たし算の「 $+$ 」やひき算の「 $-$ 」は、どのようにし
てできたのでしょうか。まず、「 $-$ 」ですが、これは船に乗って
旅に出る人が作りました。海の上でとっても大事な水をたる
に入れて旅に出たのです。大事な大事な水を使ったら、「 $-$ 」
と、たるに線をひいたのだそうです。それがひき算の記号の
始まりです。＋と÷についても、調べてみて下さい。